

2014年度 前期		リフレクションペーパー						
学科名	建築・デザイン学科							
科目名	建築と環境							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年前期			
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)/選択科目(建築コース)/選択科目(デザインコース)							
担当者	依田 浩敏							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築室内環境に関する基本的知識を理解し、説明できる。(B3) ・ 建築室内環境の快適性を図るための技術的方法を理解し、説明できる。(B3) ・ 建築環境設計に関わる演習を行うことにより応用能力を養い、環境工学的視点からの計画ができる。(B3) ・ 建築技術者として、環境問題に対してどのように関わるべきかを理解し、説明できる。(A5,B3) 							
日程と内容	4/11 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 4/18 伝熱（熱の伝わり方、断熱、断熱と熱容量） 4/25 室内環境の快適性（室内環境の構成要素、温度感覚、温度指標、快適範囲） 5/2 日照・日影 1（太陽位置、日照率、日影曲線、日影と建物の配置） 5/9 日照・日影 2（日影曲線、日影と建物の配置） 5/16 採光（屋光、採光設計、窓の位置と形） 5/23 照明（照明の基本計画、所要照度） 5/30 結露 1（結露現象、壁体各部の温度、表面結露防止） 6/6 結露 2（内部結露防止） 6/13 空気汚染（空気質、シックハウス対策） 6/20 音響（残響時間と明瞭度、音響計画上の悪条件とその対策） 6/27 室内音響計画（残響時間） 7/4 【補講】レポート課題（環境に配慮した大学の事例をあげ、近畿大学福岡キャンパスがエコキャンパスになるための提案） 7/11 定期試験に向けた総合演習（60分）と解説（30分） 7/18 定期試験（60分） 7/25 定期試験解説							
成績評価基準	定期試験	60%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	20%	計	100%
	演習	20%						
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築室内環境に関する基本的知識を理解し、説明できる。：達成した ・ 建築室内環境の快適性を図るための技術的方法を理解し、説明できる。：達成した ・ 建築環境設計に関わる演習を行うことにより応用能力を養い、環境工学的視点からの計画ができる。：達成した ・ 建築技術者として、環境問題に対してどのように関わるべきかを理解し、説明できる。：達成した 							
反省点	教室が受講生に対して広すぎたため、前の席に移動させて指導した。 講義用の配布プリントを、UNIVERSAL PASSPORTより学生個人がダウンロードできるようにしたが、事前学習の目的が学生に充分理解されていなかった。まじめに演習に取り組む学生が多かった。 補習実施による追加合格者3名。							
来年度の計画	学生のレベルにあった内容変更も必要であろう。							
授業評価アンケートに対するコメント	毎回、重要事項の穴埋め形式の資料を配付し、授業の後半30分程度で理解度確認のための小テストを実施した。 講義用の配布プリントを、UNIVERSAL PASSPORTより学生個人がダウンロードできるようにしたが、事前学習の目的が学生に充分理解されておらず、評価点が低かった。 評価はどの項目もほぼ学部平均であり、総合点は8.7点だった。							
履修登録者数	74名	定期試験受験者数	68名	合格者数	62名	合格率	91%	